

Fuel Cell for Mekong Delta

～ 燃料電池プロジェクトニュースレター～

April 2019

今月のPHOTO

来月5月から開始予定の次期エビ養殖は、今回新たな養殖技術を導入し、従来の稚エビから収穫するまで、一つの池で行うのではなく、稚エビから2か月間は中間養殖池と呼ばれる小さな池で集約的に養殖する事になりました。

この中間養殖池様に、日本側メンバーのダイセンの協力を得て、新規パールコンユニット曝気装置)の導入を行いました。



↑中間養殖池に設置された新規パールコンユニット。

今後のPlan

5月の短期専門家来越予定:

栗原(九大): 5月12日から5月16日
 中塚(ダイセン): 5月12日から5月18日
 昌子(ダイセン): 5月12日から5月18日
 平川(ダイセン): 5月12日から5月18日
 佐藤(ダイセン): 5月12日から5月18日

5月のイベント:

5月10日: 次期エビ養殖開始
 5月中旬: 次期エビ養殖に向けた準備

文責: 業務調整・中山

プロジェクトACTIVITIES

4月24日(水)から25日(木)の二日間、実証サイトを訪問し、今月のフォトでも紹介した、新規パールコンの設置を行いました。

今回、新規養殖技術の導入が急遽決まった為、日本側メンバーであるダイセンの来越が叶いませんでしたが、作製頂いた設計図を基に、INTのSangさん、実証サイトのSonさんらで作製、設置を行って頂きました。

設置後の試験運転も無事完了し、来月5月10日から開始される予定の養殖を待つばかりです。



↑パールコンの清掃、設置準備を行う、Sonさん。



↑パールコンユニットを池底に沈めるコンクリート製の重し。



↑設計図を基に、配管を行うSangさん



↑池中央部に設置し、バランス調整を行うSangさん



↑設置後の試験運転。エア一漏れもなく、順調に稼働。

